

真夏の森林フィールドワーク！

『樹幹解析実習(8月5日)・校内発表会(8月9日)』



8月5日に伊賀市ゆめが丘にある三重大学伊賀研究拠点との連携で「樹幹解析講座～樹の成長を解析しよう」という講座が開かれました。参加者は理数科1年生40名です。午前中は森林組合にお世話になり、青山高原の森林でフィールドワークを行ないました。



あらかじめ切り倒してもらった木から生徒はのこぎりを使い円盤状の木を作っていました。



現地で森林の様子を肌で感じ、また森林についてのお話も聞かせていただいて有意義な時間を過ごしました。午後からは伊賀研究拠点の実験室で、午前中切り落としてきた円板などを使い、各年輪の半径を測定し樹の成長を計算により求める実習を行いました。



測定しなければいけない箇所が多く根

気のいる作業であったため、なかなか時間通りに作業は進みませんでしたが、終了後も学校に帰り講師の先生にやり残した部分の講義をしていただいたり、班ごとにまとめる作業の相談をしたり、4日後に控えた発表会に向けての準備計画をしたりと、疲れている中、一生懸命前向きに取り組んでいました。

例年になく難しい課題に取り組み、発表会までも自主的に集まり苦労しましたが、発表までたどり着けた生徒たちの顔には達成感がみぎぎっていました。



今春卒業生の声 第3弾

菊澤 昇吾 さん

広島大学 文学部 合格 (新聞部所属)

私は広島大学の文学部で倫理学を学んでいます。倫理学とは「人間とはどういうふう生きるべきかを探求する学問です。大学では自分のしたいことを徹底的に研究できます。自分の興味がある分野の奥深くに分け入って研究を重ね、他分野の専門家と意見を交換できる場所です。そうした経験の中で自分の知識が深化していくことはとても楽しく、大学の魅力でもあります。

自分がしたいことを見つけるのに理数科はとてもいい環境だと思います。私が倫理学と出会ったのも理数科での授業の中でした。倫理学は文系科目ですが、理数科では文系の科目にもしっかり対応してくれます。また、大学見学や企業訪問、プレゼンテーションの練習など普段の授業とは違った経験をする機会にも恵まれています。そういった体験から、自分の進みたい分野を見つけるヒントが得られるかもしれません。

